http://moriwaki-hayato.jp/

森脇勇人後援会だより

Vol.7
二〇一九年九月発行

直面する課題にひとつひとつ丁寧に取り組みます

松江市議会議員　森脇勇人

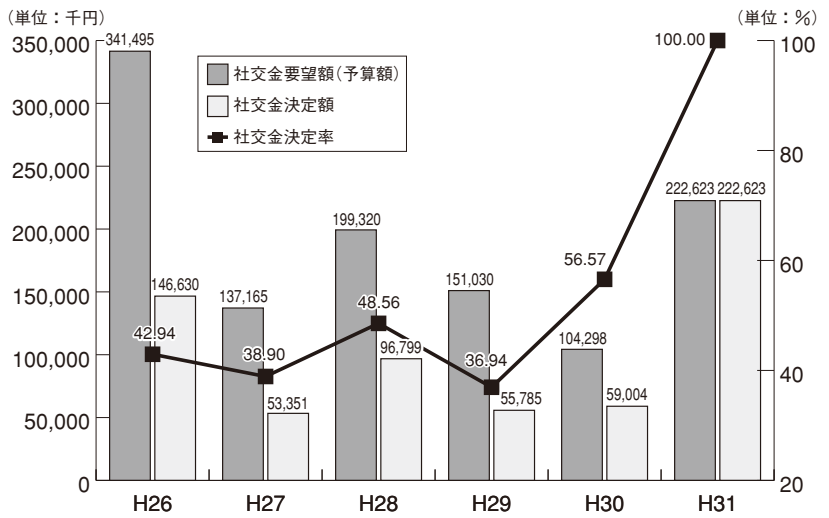
天皇陛下のご退位により元号が改元され平成から令和となりました。五月十日に市議会議長を退任し、議会最大会派の松政クラブ会長に就任しました。

さて松江市は、昨年中核市に移行しました。一年が経過し、ここまで順調に市政は運営されていると考えます。しかし、総合計画を着実に実施するためには、都市計画や税の検討、新庁舎建設、大橋川改修によるまちづくり、原子力発電所再稼働に対する考え方など多くの課題があります。また、宍道湖・中海圏域においては山陰新幹線・伯備新幹線の整備計画への格上げ、境港出雲道路（北道路）の早期整備、高速道路の延伸、インバウンド観光の推進など二十万都市、圏域六十万人の地域としての課題もあります。

また、要望額に対する交付率の低さを打開するために、二年前から取り組んできた社会資本整備総合交付金事業における松江市要望分の確保についても、国の国土強靭化による平成三十・三十一・三十二年の三か年七兆円規模の予算確保により三十一年度は、新規道路事業費は要望額が満額確保されました。これにより予算不足により十年近くの間事業が進まなかった七カ所の市道整備事業が確実に進みます。担当部局の一層の活動を期待するものです。

今後とも一つ一つを丁寧に市民の皆様に分かりやすい議会活動に取り組みたいと思います。様々な課題に「是々非々」の精神で取り組みたいと考えます。

補助事業決定金額の推移



山陰新幹線・中国横断新幹線要望活動

山陰新幹線・山陰横断新幹線については現在基本計画から整備計画へ加えていただくよう活動しています。

現在、新幹線整備を行うためには基本計画路線を整備計画に格上げし費用の三分の一を関係自治体が負担することになっており、その覚悟や意気込みが関係自治体にあるのかが試されています。その覚悟が認められれば二〇二〇年には整備計画の方針が出る予定であり現在一生懸命活動しています。しかしながらすでに新幹線が通っている自治体は、隣の県に新幹線を通すために新たな債務を負うのは嫌だということで、中々交渉が難しいのが現状です。また当事者である県も財政がひっ迫している中での新たな債務の増加を望まないために財政力の低い県ではなかなか新幹線計画が進まないのも現状です。

松江で行われた決起集会で西田参議院議員がＪＲ全体から上がる国の税収は三千億円ありそれを使ってでも基本計画路線を整備していくべきとのお話もありましたが、私も同感です。私は現在新幹線を利用される方が四億人と聞き、新幹線利用税を一人二百円いただければ八百億円がいただけ、更に軌道幹線に対する利用税を作れば地方の赤字路線対策にならないのかと考えます。

新幹線予算は七百五十五億円といわれていましたが、今年度は三十億円ばかり増える見込みです。しかしながら今後の計画や維持に対する費用は国民全体、利用者全体で賄うことも考えてみていただきたいと思います。

珠洲市、姉妹都市三十周年訪問

石川県珠洲市はくにびき神話の中で島根半島の一部を、「古志の都都の三崎」を引きよせ現在の美保関となったという神話から、旧美保関町が姉妹都市であったため松江市が引き継ぎ交流をしています。最近はあまり交流がなくなっていましたが、今回久しぶりに訪問し交流を深めてまいりました。松江市産の白い椿「亀田山」を記念植樹してきました。

珠洲市へは陸の交通が大変不便で、米子空港から羽田、羽田から能登里山空港へ乗り継ぎで行くのですが、何とかチャーター便でも出してお互いの交流ができないものかと思います。

北陸地方の方は「北前船」のころは大変な交流がありましたが、今では先ほどのような交流しにくい状況です。新幹線でも日本海側を通っていればよいのですがそれもありません。「市政百三十周年」の時ぐらいに、是非チャーター便を考えてみてはと思います。

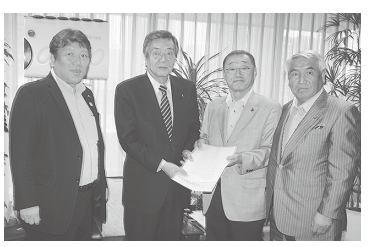
泉谷市長、三盃議長と共に松江市産椿「亀田山」を記念植樹

工芸菓子贈呈式　台北市長と

東北被災地視察

要望活動　岸田文雄氏

要望活動　橋本聖子氏



要望活動　竹下亘氏　全国市議会議長会会長と

平成31年度2月 定 例 会 報 告

今議会では、条例案件25件、単行案件123件、予算案件24件、報告案件７件、30年度補正予算11件、教育委員、農業委員、公平委員各１名の同意案件と人権擁護委員の推薦３名などを審査し、いずれも原案可決しました。

◎平成31年度一般会計……1,001億9,800万円
◎特別会計（8会計）……462億8,058万1千円
◎企業会計（5会計）……417億2,893万3千円
◎平成30年度一般会計補正予算……9億3,753万9千円

一般会計予算の主な事業

国の国土強靭化事業に対応した景気対策や投資的事業、玉湯統合小学校建設や南学校給食センターなどの大規模事業や消費税改定に伴う事業など5年ぶりに1,000億円を超える予算となり、補正と合わせ1,013億2,846万６千円となりました。

Ⅰ．松江を超える、松江を作る

①中海・宍道湖・大山圏域市長会事業……4,447万1千円
②山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト……1億4,000万円
③城下町AR・VR体験環境整備事業（城の魅力発信）……1,420万円
④インバウンド観光推進事業費……1,643万7千円
⑤地産地消関連事業費（価格保証・ハウスリース）……1,332万5千円
⑥森林環境税譲与税関連事業費（森林管理体制構築）……4,313万1千円
⑦漁港・港湾整備事業（堤防嵩上げ延長で機能強化）……1億8,010万1千円
⑧中小・小規模企業振興基本条例推進費……55万4千円
⑨プレミアム付き商品券事業……12億3,228万9千円
⑩市制施行130周年記念事業費（10月31日に式典予定）……1,213万1千円
⑪まちのRe-Project事業費（遊休不動産活用）……1,068万8千円
⑫新バス運行情報提供システム整備（運行情報発信）……2,289万3千円
⑬緑の基本計画事業費（計画更新）……699万2千円
⑭国宝松江城マラソン開催事業補助金……1,000万円
⑮ホーラエンヤ事業費（5月18日・22日・26日開催）……6,387万2千円
⑯世界アマチュア囲碁選手権島根大会事業費（6月1日～6日）……1,440万円
⑰松平不昧公200年祭開催経費（4月24日を茶の湯の日）……7,65万8千円
⑱佐陀神能施設・用具整備（舞殿改修・用具修繕）……402万4千円
⑲友好都市周年記念事業費（ニューオリンズ・晋州・吉林・銀川）……436万8千円
⑳国宝松江城天守耐震対策事業（耐震補強）……2,360万5千円
㉑菅田庵整備事業（菅田庵と向月亭の保存修理・防災施設）……3,490万8千円
㉒重文木幡家住宅保存修理（蔵3棟）……90万円

Ⅱ．松江の未来を切り開き、新たな可能性に挑戦する

㉓産後ケア事業費（退院直後の母子ケア、デイサービス型）……101万円
㉔コウノトリ縁結び事業（不妊治療費1年目4.5万円上乗せ）……1,447万2千円
㉕感染症予防対策推進事業・予防接種事業費（風疹予防）……7,301万2千円
㉖幼児教育無償化関連事業費（幼稚園・保育園・対象者6445人）…1億6,633万円
㉗保育所施設整備事業費（創設・増築の施設整備）……1億5,719万6千円
㉘生活困窮者就学支援事業費（中学3年生対象・100人）……321万1千円
㉙玉湯統合小学校・幼稚園・児童クラブ整備事業費……17億6,490万円
㉚南学校給食センター整備運営（DBO方式）……15億3,015万7千円
㉛「夢☆未来」学力向上対策事業費（支援員の増）……2,998万2千円

Ⅲ．移住、定住、関係人口創出

㉜シティープロモーション推進事業（戦略的広報活動）……290万9千円
㉝移住支援事業費（東京圏からUIターン、30世帯分）……3,000万円
㉞関係人口創出事業費（松江出身者ファンクラブ事業）……843万6千円
㉟婚活支援プロジェクト推進事業費（ネットワーク・啓発）……350万円

Ⅳ．安心・安全なまちづくり

㊱大橋川周辺まちづくり検討事業費（かわまちづくり計画等）……412万7千円
㊲松江湖畔公園再整備事業費（千鳥南公園の基本計画策定）……305万円
㊳松江市防災無線整備事業（デジタル同報系3期）……1億2,216万9千円
㊴防災対策関連事業（資機材・組織育成）……1,294万9千円
㊵道路・河川整備事業（市道新設・河川整備・定期点検）……27億2,389万5千円
㊶全国消防操法大会関係費（女性消防団全国大会出場）……349万4千円
㊷高機能消防指令センター整備事業（システム改修）……1億5,338万円
㊸地熱を中心とした再エネ活用プログラム策定事業費……5,969万9千円
㊹PCB廃棄物処理推進事業費（未処理事業者掘り起し）……800万円
㊺総合戦略・総合計画推進費（検証・推進・次期計画策定）……1,040万円
㊻地域版まちづくり総合戦略事業費補助（地域の取り組みに）……1,040万円
㊼新庁舎整備事業費（基本設計・実施設計継続）……4,746万7千円
㊽島根複合施設整備事業費（公民館に支所事務スペース確保）……1,373万6千円

30年度２月補正予算の主なもの

一般会計９億3,753万９千円の補正を行い補正後の総額は1,013億2,845万円となります。

1．地方創生拠点整備交付金事業（８億8,075万8千円）
中海スポーツパーク整備事業（上宇部尾に人工芝）……7億8,720万6千円
大手前観光拠点整備事業費（堀川遊覧船乗り場整備）……4,500万円
八雲林間劇場整備事業費（しいの実シアター機能拡充）……4,855万2千円

2．各省庁事業分（３億216万円）
担い手確保・経営強化支援事業費（農業機材・施設支援）……4,630万7千円
国・県土地改良事業負担金（新庄・西谷上圃場整備）……5,418万5千円
林道開設事業費（補助）（上宇部尾～大海崎町）……2,625万円
林道改良事業（横手線・鹿島町古浦～秋鹿町）……1,680万円
社会福祉施設等整備事業費補助金（障がい者福祉施設整備）……5,763万1千円
道路ストック等長寿命化対策事業費（市道千酌線クラック補修）……2,000万円
嫁島高架橋改修事業費（コンクリートの剥離）……5,100万円
空調改良事業費（朝酌小・一中）……2,998万9千円

3．その他事業（▲3億6,772万1千円）
菅田庵整備事業費（一般公開に向け駐車場整備）……3,000万円
その他……▲3億9,772万1千円

4．玉湯統合幼稚園改築事業費（１億2,234万2千円）

平成31年度工事予定個所

島根町・美保関町・八束町

道路・河川
・福浦法田線　道路改良L＝300m
・才軽尾線　道路改良L＝290m
・市道菅浦立花線　基本設計・調査（新）
・笠白農道改良
・市道月ケ廻線　基本計画・調査（新）

側溝改良
七類海岸学校線、惣津七類線、市道入江江島線、市道遅江16号線、市道波入2号線

橋長寿命化
・雲津幹線　関連道橋
・野波中央線代官家橋

河川・排水路
・稲積川改修事業　河川改修L=60m
才浦川（ブロック積擁壁）、菅浦川（コンクリート擁壁）、女良川（災害復旧）、稲積川（災害復旧）、法田川（コンクリートU型水路）、田前川（ふとんかご）、垣ノ内排水路（コンクリートU型水路）

建築工事
森山分団福浦班消防機庫、福浦小学校解体・稲積集会所整備補助、島根複合施設、中村元記念館（空調施設改修）

《美保関町関連事業》

港湾漁港・道路舗装修繕
・笠浦、千酌、法田舗装修繕・惣津港物揚場測量設計
・林道美保関線（トンネル照明・舗装）・美保関線アクセス道舗装

農林水産関係
・稲積・雲津・漁業施設修繕（滑り材）
・ふるさとの森再生整備事業（竹林薬剤故殺・菅浦）
・種苗放流推進事業、漁業環境対策補助（七類）
・新規自営漁業者定着支援資金貸付（七類・美保関）
・新規漁業者支援事業（七類・笠浦・福浦）

学校・体育施設
美保関運動公園、野球場・テニスコート修繕、美保関中学校耐震対策工事

県事業

島根・八束・美保関
松江鹿島美保関線　惣津工区……2億5,800万円
国道485七類トンネル……5,600万円
国道431森山トンネル……2,000万円
七類雲津長浜線　雲津橋……2,000万円
松江鹿島美保関線観音崎トンネル……500万円
松江島根線　大芦（方面修繕）…2,000万円
松江島根線　加賀（方面修繕）…1,000万円
国道431号線　万原……2億3,500万円
松江鹿島美保関線　片江2…9,400万円
大根島線　波入……3,500万円
大根島線　遅江……1,900万円
才浦4区急傾斜……2,100万円
福浦急傾斜……5,250万円

国庫補助分

林道点検診断、保全整備　美保関他……1,420万円
復旧治山　加賀別所……5,200万円
大型漁礁設置　出雲・石見（美保関）……4,200万円
漁港補修　瀬崎……3,300万円
漁港補修　美保関……1,000万円
漁港補修　野波……970万円
漁港整備　野波……1億3,000万円
漁港整備　野井……1,200万円

漁港集落排水機能保全対策

野井……2,050万円
雲津……330万円
惣津……430万円
法田……520万円

令和元年度六月 定例会報告

令和元年度六月定例議会において、松政クラブを代表して代表質問を行いました。

知事選挙について

Q 市長会が推薦した候補ではない知事が誕生したが、今後の県との関係も含め市長の率直な思いを伺う。

A 市長会では知事候補の推薦に当たり国との連携が不可欠であり自民党推薦を重視して決めた。島根県が抱えている一番大きな問題は人口減少による地域の衰退でありそれに立ち向かっていくには県と市が密接に連携を図り効果的、効率的に施策の展開を図っていく必要がある。知事とは次期総合戦略の策定を契機に県と市町村の役割を一緒に考えられるよう関係を構築したい。

Q 新聞一面を使う選挙広告の在り方について総務省省令に照らして合法なのか伺う。

A 今回の新聞広告の内容が、選挙運動に当たる違法なものか否かという判断については松江市選挙管理委員会としては合法とも違法とも判断できない。最終的な判断は司法機関に委ねるしかない。

Q 知事の街頭演説で子ども医療費は県内ではらつきがあるので小学校六年生までは県で負担するとの演説を伺った。松江市ではどの程度の影響があるのか、市長村長との協議が必要と考えるが、市長の所見を伺う。

A 知事は県議会本会議で子ども医療費助成に関して小学校卒業まで医療費を無料にした場合、追加負担は五億四千万円と試算を示された。松江市に当てはめると県補助は三億六八〇〇万円程度となり約二億円程度増える。現在子ども医療費制度の助成額や対象年齢が自治体により異なっており新たな負担が生じる自治体もあるため制度導入については県内市町村長と積極的に協議していただきたい。

子ども医療費の状況

（平成29年度決算で試算）

総額　7億3,706万4,000円

補助内容　※ ▨ 松江市単独補助（単位千円）

	島根県	松江市	県対象外個人負担	小学1〜6年生
現　行	165,675	165,676	97,275	308,438
改正後	368,532	368,532	0	0

※就学前半額補助・通院1,000円、入院2,000円を超えるもの（県対象外個人負担）と、小学校卒業までは市が負担

※市負担は現行５億7,138万9,000円が改正後は小学校卒業まで半額措置となり３億6853万2,000円となり約２億円程度減少する。

ホーランエンヤについて

Q 経済効果、今後の運営・問題点など検証されていれば伺う。また、今後の運営や伝統文化としての保存についてさらなる検討が必要と考えるが所見を伺う。

A ①人出は前回を二万人上回る三十八万五千人となり有形無形の効果があった。

②マスコミの注目度が高く伝統を継承する地域の結束力、誇りを知っていただく良い機会となった。NHK・民放各社をはじめSNSなどのネット発信により海外メディアにまで発信頂き松江の大きなシティープロモーションとなった。

③宿泊施設では九日間の間予約が取りにくくなるなど波及効果があった。

④九日間を通して売り上げが伸び三十八億二千万円の経済効果を試算された。

⑤運営面では関係機関のバックアップで多くの来場者に混乱なく観覧いただいたと思っている。

⑥改善点などは早急に研修し十年後に引き継ぐ資料作成を進めたい。

⑦ホーランエンヤの伝承は松江市全体で受け止めていきたい。

人口減少と対策と新幹線整備事業の必要性について

Q 人口減少は鉄道の敷設に大きく関連する。明治の人口から人口減少に転じたのは四十七都道府県で島根県だけである。このことを踏まえて新幹線整備について何点か伺う。

○新幹線整備は地方創生、地域経済対策、人口減少対策に欠かせない事業であると感じているが鉄道整備、新幹線整備と圏域の人口減少について市長の率直な感想を伺う。

A 京都大学の藤井先生は、国内政令市は札幌市を除くすべての都市が新幹線沿線にある。明治時代の主要十五都市のうち新幹線が未開通また最近まで整備されていなかった都市は政令市になっていない。明治時代に一地方都市だった静岡や岡山などは新幹線のおかげで政令市になった。新幹線がない街はかつてどれだけ栄えていた都市でも衰退していかざるを得なかったと、分析されている。新幹線整備の早期実現に向け関係団体や関係機関と連携し積極的に取り組んでいく所存です。

○三月六日の自民党プロジェクトチーム（PT）の内容について市長の所見を伺う。

A ヒアリングを通じてどの路線を基本計画路線から整備計画路線へ格上げするのかそれを選ぶためのPTだと思っていたが、西田、青木両参議院議員の話を伺う中ですべての基本計画路線を整備計画路線に格上げする運動を通して国土政策を実現する。そのための新幹線予算枠を確保するものだと受け止めた。自民党PTの活動に期待する一方私どもが自ら頑張らなければならないと思いを強くした。

Q 新幹線の必要性についての市民への周知、県の状況、推進会議の六月十二日、十三日も要望活動について伺う。

A ①今後、京都大学、大学院の藤井先生から分現在析をしていただいており、それを基礎にわかりやすい説明資料を作り出前講座等開催したい。十月二十日には安来市において総決起大会を開催する。

②県は山陰新幹線、伯備新幹線に関する期成同盟会に参加しているが、現在事実上活動を行っていない。前知事からは地元負担金、在来線の問題、高速道路の整備などがあり困っていると伺っていたが、長期的な視野に立ち是非積極的に取り組んで頂きたい。鳥取県・岡山県のご理解ご協力が無くてはならず県に運動を主導していただきたいと考えている。

③六月十二日に国土交通大臣に面会した。新幹線整備に係る予算枠の増額、地元負担金、在来平行線の問題などについて大臣、関係局長、審議官に要望した。十三日には地元国会議員に報告し今後の支援をお願いした。伯備線はフリーゲージトレイン実現ということで動いていたため他の基本計画路線と比べ運動が遅れていたが国土交通大臣に直接要望ができ遅ればせながらスタートラインに立って運動の第一歩が踏み出すことができ意義深いものとなった。

Q 六月五日の自民党PT提言について市長の所見を伺う。

A 森脇議員のおっしゃる通り私たちの求める新幹線整備の考えと合致していると受け止めた。政府与党内で次期整備計画決定に向けた動きが加速していると実感している。今後こうしたPTの皆様と歩調を合わせて何としても山陰新幹線、伯備新幹線を実現させなければという思いを強くした。

地方創生推進交付金・整備交付金について

Q この交付金は事前相談の期間が短く使いづらい。拠点整備交付金は補正計上されるため実質一年で事業を行うため実施が難しい。今回中海スポーツパークの事業採択が見送られたが今後の取り組みと推進交付金・拠点整備交付金について市長の所見を伺う。

A 中海スポーツパークについては必要性、目的を整理したのち場所も含めて施設規模事業の積算、文科省の補助メニューなどゼロベースで検討を開始した。ソフト事業である地方創生推進交付金は地域間連携や政策関連系といった先駆的な要素が必要となり複雑な条件設定があり地域の実情に応じた活用がしにくい状況です。地方創生拠点整備交付金は条件提示など事前に示されていないのが非常に大きな問題だと思う。指摘された通り二年間の事業だが実質年度末補正で計上される事業のため単年度の事業完了が必要とされている。四月十八日に国と地方のシステムワーキンググループのヒアリングがあり全国市長会財政委員の立場で二つの問題点について改善要求をした。また、あらかじめ今どうしたものが補助金の対象

になるのか係長以下十七名で構成した人材育成ワーキンググループを立ち上げたところです。グループの活動を通じて体制を整えていきたいと考えています。

Q　島根県・県内市町村の事業申請や採択状況を伺う。

A　地方創生推進交付金は平成二十八年度に制度が創設され島根県はこれまで二十四件の事業が採択されています。県内市町村では一四一件の事業が採択されておりそのうち松江が採択を受けた事業は十四件です。地方創生整備交付金は県は三件、県内市町村は十三件の事業採択があり松江市は水陸両用機を核とした中海振興プロジェクトなど四件です。

地方創生推進交付金事業採択状況　（採択額単位：千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		計	
	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額
島根県	6	427,258	1	15,541	9	839,719	8	914,209	24	2,196,727
県内市町村	16	111,848	12	71,573	64	353,231	57	438,960	149	975,612
うち松江市	2	1,200	2	7,200	4	23,300	6	85,794	14	117,494

※件数及び採択額データは新規事業及び継続事業の合計

地方創生拠点整備交付金事業採択状況　（採択額単位：千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		計	
	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額	交付対象事業数	採択額
島根県	1	312,275	1	76,500	1	199,856	―	―	3	588,631
県内市町村	5	284,552	4	241,679	4	414,740	―	―	13	940,971
うち松江市	1	149,145	1	11,451	2	44,161	―	―	4	204,757

（データ：内閣府地方創生推進事業局HP掲載「交付対象事業の決定」より県及び県内市町村分を計算）

国土強靭化予算について

Q　三か年七兆円規模の予算が国では計上されている。先般の研修で様々な事業予算に網羅されていることが分かった。予算獲得には国土強靭化地域計画が重要と伺ったが、計画の策定状況を伺う。

A　ご指摘の通り計画を策定することで国の補助事業採択の優先度も高くなり、計画を早期に策定することが極めて重要であり、本年度の次期総合戦略と同じスケジュールで策定することにしており年内を目標にしている。

　三か年緊急対策関連事業は国の補正に合わせ、二月補正で玉湯統合幼稚園改修事業や嫁島高架橋改修事業など五事業で約二億六千万円計上している。財源としては有利な地方債、社会資本整備総合交付金が活用できる。

松江市議会政策研究会提言について

Q　議会政策研究会で政策条例制定に向けて歴史伝統文化の継承保存について研究してきたが市長より条例制定に向け検討するとの発言があり、提言をまとめて市長に提出した。ホーランエンヤの今後の課題検討にも当てはまるが、条例制定に向けどのようなスケジュールで行うのか議会提案をどのように反映させていくのか伺う。

A　松江の歴史文化を深掘りしどのように本市の施策に反映させていくかについて検討を行う。現在文化活動などの現状把握に努め諸準備を行っている。その後に外部委員会を設置し文化行政の在り方について検討していただくことにしている。国際文化観光都市建設法七十周年が令和三年四月であり、これをめどに方針をまとめていきたい。

教職員の人事権移譲について

Q　島根県教委は議論を打ち切る結論を出した。地方分権が進み多くの二重行政解消の施策も打たれ、国・県・市町村の状況は大きく変わってきていると考える。今回の結論に至った島根県教委の考え方、申し込んでいるワーキング会議の開催の是非、今後の権限移譲について考えを伺う。

A　平成十八年に県が立ち上げたワーキング会議の九つの課題を検証する前に国の動向を見極めるとして終わっている。県は主体的に問題を受け止める姿勢にかけていると思う。国の閣議決定で中核市に対して人事権移譲を積極的に推進していくことになり、国の動向は大きく変わってきている。県が具体的なたたき台を示したうえで議論する場を設けていただきたいと考えている。県には改めて検討を行っていただくよう申し入れをした。

林道美保関線開通　事業完了

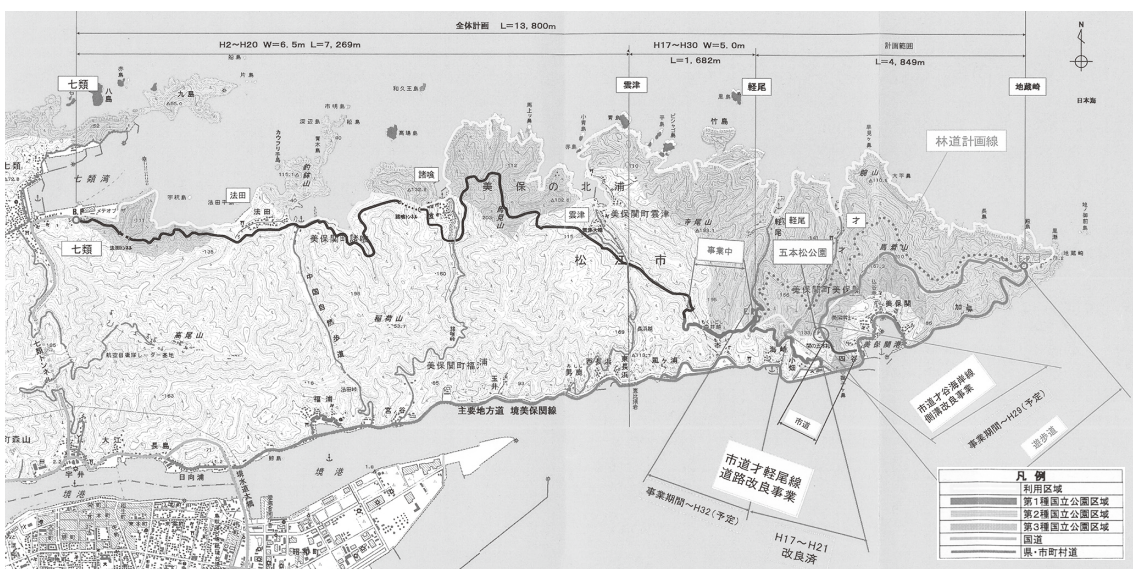
　林道美保関線は四月三十一日に雲津～軽尾間が開通し全線が開通しました。平成元年に林道開設期成同盟会が結成され、陳情活動が行われ平成二年に事業着手、約三十年をかけて事業が完了しました。

　事業目的は林業振興の基盤整備・生活環境の改善・有事の際の迂回道路ということで美保関町の東部の日本海側の各集落を結ぶ当時としては境水道大橋に次ぐ夢の道路でした。起点は七類、終点は市道才軽尾線まで橋梁二カ所、トンネル二カ所、路線延長は八、九五一ｍ、幅員は六・五ｍが七、二六九ｍ、五ｍが一、六八二ｍです。

　総事業費は八十億二五〇〇万円の大事業でした。途中、半島特有の地滑りの影響での補強工事の増大や地権者対策の難航、生態保護のための工事期間の制約などがあり多くの時間と費用が掛かりました。しかしながら法田・諸喰・雲津・才浦・軽尾など生活道路が一本しかなく災害時の対応が求められていた地区にとってはやっと念願がかないました。この林道建設には多くの先人の皆様の活躍が無ければ成しえませんでした。また、多くの地権者の皆様のご協力があってこそのものでした。今後は軽尾～地蔵崎間の計画変更に伴う七項目の地元要望についてしっかりと取り組んでいくよう働きかけたいと思います。

　皆様の熱意でできた林道です。地域の皆様としっかりと愛情をもって管理できればと思います。

林道美保関線開設事業計画位置図



《計画変更に伴う地元要望》

1. 四谷から西小路鼻までの県道改良
2. 県道境美保関線（西小路地区内）の線形改良
3. 新規駐車場の確保
4. 市道才軽尾線から五本松公園へのアクセス道路及び駐車場の整備
5. 平和祈念塔の改修整備
6. 五本松公園～地蔵崎間遊歩道の整備
7. 林道美保関線の徐草等維持管理

― 入会申込み・問い合わせ ― 森脇勇人後援会事務局　〒690-1311 松江市美保関町七類142　TEL 0852-72-3265

（討議資料）